

桐原東小学校5年生「白鳥川・環境学習」

11月12日、台風18号27号の影響を受けて延び延びになっていた恒例の平成25年度の環境学習も、急速な気象変化で、急遽学校内の音楽教室にて「白鳥川の景観を良くする会・生きもの発見、学習支援班」による環境学習 出前支援となりました。

魚・水質試験・透明度テストと植物観賞の学習支援準備の為、各班員朝9時から小雨降る中、白鳥川、藤間川の水の採取、魚取り、環境学習の場近辺の植物の採集に当たりました。

11時から学童約70名、先生方4名、景観隊代表、生き物発見・学習支援班員6名にて実施致しました。

吉田代表の挨拶



5種類の水質テスト試薬を使っでの水質検査



「はい、透明度検査する人？」

水を汚さない為に
家庭にて、ちょっとした工夫
牛乳瓶、パックの荒い水や、コメの研汁は
流さずに庭の花や野菜にやるとか
農業の人は泥水を川に流さない様にすることが大事です。

琵琶湖の水を汚さずに、琵琶湖の底に汚泥を溜めないようにしなくてはなりません。



白鳥川の水 透明度検査



綺麗な水 500ccの中に20ccの牛乳、米の研汁、泥水による水の汚れ実験



白鳥川の植物 164種類 (2011年)



光合成に大事な植物の葉の特徴



終了後の各人が目を輝かせながら休憩時間になっても植物のなまえ、特徴の質問を受ける



先生へ何を伝えているのかな？質問かな？



朝から採集してきた植物に手を触れての歓声

気象状況の急激な変動でやむを得ず室内、出前学習も準備不足もありましたが、児童たちのこのような輝きを見る事が出来、又、子どもたちに教えているのか教えて貰っているのかを経験出来て、本当に良かったと思えました。

最後に代表からの「皆さんの環境への思いを、絵にしてほしい」(桜の季節のぼんぼり用) とのお願いをして出前学習支援時の課題と喜びとを胸に本年度の学習支援を終了しました。